



「ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞を受賞

株式会社グッドバンカー / 三菱UFJ投信株式会社

株式会社グッドバンカー（代表取締役社長 筑紫みずえ）は、このたび財団法人社会経済生産性本部の「次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議～」が主催する「第1回ワーク・ライフ・バランス大賞」において、貢献活動表彰の「優秀賞」を受賞いたしました。

「ワーク・ライフ・バランス大賞」は、今年度を第1回として、企業・自治体・労働組合など各界でのワーク・ライフ・バランス推進における取組みの活発化を図ることを目的とし、社会的課題とされるワーク・ライフ・バランスの定着に向けての積極的な取組みや、効果を上げた活動に対し、表彰が行われます。

当社は「ワーク・ライフ・バランス大賞」の「“社会の動きに影響を与えた”ワーク・ライフ・バランス推進『貢献活動』部門」での受賞となります。受賞にあたり評価いただいたのは、「仕事と生活の調和」をテーマとして国内株式に投資する「三菱UFJ SRI ファンド（愛称：ファミリー・フレンドリー）」の商品開発とファンド運用における取組みでした。

当ファンドは、「少子高齢化」「人口減少」といった社会の変化とその影響を考慮する投資家と企業をサポートし、ワーク・ライフ・バランス社会のベース作りに貢献しながら資産形成を行う、わが国初の金融商品です。様々な社会的課題の中でもワーク・ライフ・バランスは、企業行動の変革が大きなインパクトを持ち、各個人ひいては社会へ及ぼす影響度も大きいテーマであることから、ワーク・ライフ・バランスのコンセプトを株式投資に反映させた金融商品の市場投入は、課題解決へのアプローチとしても有効に機能すると考え、2000年より商品開発に取組み、2004年12月から運用を開始しております。

当社では、今回の受賞を契機に、より多くの皆様に「三菱UFJ SRI ファンド」の意義をご理解いただけるような取組みを進めるとともに、今後も、社会的課題の改善・解決に資するような金融商品やサービスを提供してまいります。

以上

〈次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議～〉

2006年8月に発足し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、社会的な啓発・普及を進めるとともに、企業における具体的な実践を支援する活動を展開しています。特に、推進会議では、民間からの自主的な動きを活発化することにポイントを置いており、経営者や労働組合、学識者、推進活動を行っている団体など、幅広く各界からの賛同と協力を得ながら取組みを進めています。